



豆腐ハンバーグ。地元の豆腐店から仕入れた豆腐を使用した逸品だ。また、米や野菜、果物も全て地元のものを使用。手づくりの白和えや漬物は非常に優しい味わいで、何度も食べたくなる美味しさだ。

歌舞伎公演での弁当販売も実現にこぎ着けた。太寿司は食材の一部が歌舞伎の公演時期に確保できないなどの理由から廃止され、代わりに柳橋の特産品「じゅうねん」と呼ばれる白玉ごまなどを使用し、定式幕をイメージした色あわせを完成させた。おはぎは事前にある程度準備可能用意したが、ある程度準備不可能という間に完売。決して17年で50食を公演ではなかった。今後、歌謡曲のお供に欠けてはならない存在になってしまった。

5年前から、地域の将来のために何をすべきかを地域の方々と、大学生と一緒に考えてきました。その中から、地域の高齢者と子供たちの交流の場を創出する事業のほか、地元食材を生かした料理コンテストやおもてなし料理を開発するための食のワークショップなど、様々なアイデアが生まれ、持続的な文化と自立的な経済に向かう将来への夢が見えてきました。

この夢の実現に向けて一歩踏み出すためにまちづくり元気塾の支援を受けたのです。その成果として昨春、元気なお母さんたちと、協力的な男性町内会役員の方で、「舞の里けやき亭」がオープンしました。

しかし、本当のまちづくりはこれからです。お客様を確保するか、ボランティア作業からビジネスに変えるために、付加価値をどうつけていくか。お弁当の宅配事業など基盤的な事業の立て上げ。高齢者を巻き込んでの食材の生産体制。まだ課題は山積しています。しかしそれはまた新しい夢にもつながっています。皆で地域の暮らしを楽しむ場としての食事会の開催など、さらなる夢の実現に向けて、進んでいっていただきたいと思います。パートナー一同、これからも支援を続けて参ります。

会の思いが結実の時を迎えた。念願だった農家レストラン「舞の里けやき亭」がオープン。PRにも力を入れた結果、地元紙で取り上げられるなど注目度も高い。営業日は平日土曜日で、近隣の住民をはじめ、県内外から多くの人々がけやき亭の味を求めて訪れている。

豆腐ハンバーグ。地元の豆腐店から仕入れた豆腐を使用した逸品だ。また、米や野菜、果物も全て地元のものを使用。手づくりの白和えや漬物は非常に優しい味わいで、何度も食べたくなる美味しさだ。

オープン前に対応したパートナーも好評を博した。内容は柳橋地区の名所「地蔵桜」などをバスで巡った後、「けやき亭」で食事をするというものの、そもそもはけやき亭の開業を控え、料理提供の習熟を目的に開催したものだったが、ぜひ18年も開催してほしいとの声が寄せられた。

歌舞伎公演での弁当販売も実現にこぎ着けた。太寿司は食材の一部が歌舞伎の公演時期に確保できないなどの理由から廃止され、代

わざわざできるを得

なかつたが、代わりに柳橋の特産品「じゅうねん」と呼ばれねん」と呼ばれねん」と呼ばれていた。このように、柳橋地区の活性化に貢献してくれることで、柳橋きらり塾メンバーも喜んでいます。この歌舞伎と柳橋の良いところを組み合わせ、地域を元気にしていくといった想いが以前から私たちにはありました。

まちづくり元気塾では、まちづくりパートナーの方に地元の食材を生かしたメニューや調理方法など、様々な助言を頂きました。自分が普段何気なく使っている食材にこんな使い方があるのかと驚くとともに、自分たちにもやるのではないかという新たな可能性を感じることができました。私たちの想いをけやき亭の開業に結び付けることができたのは、元気塾のおかげです。

食べてもらえることで野菜づくりにも張り合いが生まれ、生産者の方々も喜んでいます。けやき亭の開業により、地域に活力が生まれていることを実感しています。

けやき亭の開業までには柳橋地区に住む多くの方々の協力を頂きました。開業という目標に向かって皆で動いたことが、新たな人と人とのつながりを生みました。また、けやき亭はコーヒーセットなども提供しているため、地域の人が気軽に集う交流の場としても機能しています。もちろん、経営の安定や後継者といった課題はありますが、これらのつながりが柳橋の活性化をさらに加速させてくれると信じています。

農家レストランが開業

太寿司・けやき亭で提供される色々な料理



ソルヌ

チーフパートナー

は じ と だ た つ お
橋立 達夫氏
作新学院大学 名誉教授



柳橋地区は、江戸時代には天領として栄え、歌舞伎をはじめとして4つの無形文化財を持つ「舞の里」として文化の香りを今日に伝えています。その一方で、中心産業であった石材産業の衰退や交通の流れの変化などにより、現在では少子高齢化が進み空家や耕作放棄地も目立つ集落になっています。

5年前から、地域の将来のために何をすべきかを地域の方々と、大学生と一緒に考えてきました。その中から、地域の高齢者と子供たちの交流の場を創出する事業のほか、地元食材を生かした料理コンテストやおもてなし料理を開発するための食のワークショップなど、様々なアイデアが生まれ、持続的な文化と自立的な経済に向かう将来への夢が見えてきました。

この夢の実現に向けて一歩踏み出すためにまちづくり元気塾の支援を受けたのです。その成果として昨春、元気なお母さんたちと、協力的な男性町内会役員の方で、「舞の里けやき亭」がオープンしました。

しかし、本当のまちづくりはこれからです。お客様を確保するか、ボランティア作業からビジネスに変えるために、付加価値をどうつけていくか。お弁当の宅配事業など基盤的な事業の立て上げ。高齢者を巻き込んでの食材の生産体制。まだ課題は山積しています。しかしそれはまた新しい夢にもつながっています。皆で地域の暮らしを楽しむ場としての食事会の開催など、さらなる夢の実現に向けて、進んでいっていただきたいと思います。パートナー一同、これからも支援を続けて参ります。

柳橋きらり塾メンバー
宗像 栄子さん



柳橋地区には地域ぐるみで歌舞伎公演を続けてきた伝統があり、毎年多くの方々に来場頂いています。この歌舞伎と柳橋の良いところを組み合わせ、地域を元気にしていくといった想いが以前から私たちにはありました。

まちづくり元気塾では、まちづくりパートナーの方に地元の食材を生かしたメニューや調理方法など、様々な助言を頂きました。自分が普段何気なく使っている食材にこんな使い方があるのかと驚くとともに、自分たちにもやるのではないかという新たな可能性を感じることができました。私たちの想いをけやき亭の開業に結び付けることができたのは、元気塾のおかげです。

食べてもらえることで野菜づくりにも張り合いが生まれ、生産者の方々も喜んでいます。けやき亭の開業により、地域に活力が生まれていることを実感しています。

けやき亭の開業までには柳橋地区に住む多くの方々の協力を頂きました。開業という目標に向かって皆で動いたことが、新たな人と人とのつながりを生みました。また、けやき亭はコーヒーセットなども提供しているため、地域の人が気軽に集う交流の場としても機能しています。もちろん、経営の安定や後継者といった課題はありますが、これらのつながりが柳橋の活性化をさらに加速させてくれると信じています。